

花の木だより

発行日 令和5年 3月 26日

発行元 ふじみ野市立花の木中学校

住所

〒356-0013 中福岡213-1

電話 049-264-5400

No. 13

回覧

目指す学校像

花いっぱい 笑顔を交わし

自分も仲間も好きになる 花の木中学校

卒業式 式辞(抜粋)

思い起こせば、3年前、年が改まった令和2年1月くらいから中国武漢での未知の感染症のニュースを目にするようになり、世界1周から横浜港にダイヤモンドプリンセス号が帰港した2/3、乗客は下船を許可されず、船内に留められていました。このころはまだ、他人ごと感じていた新型コロナウイルス感染症です。そして、2/27(木)夕方、テレビなどの報道番組で、安倍元総理が全国の学校に一斉休校を要請するという衝撃的なニュースが駆け巡りました。各学校は、2/28(金)1日で臨時休校期間中の学習や生活について指導し、卒業式については追って連絡しますというバタバタの中で休みに入りました。当初、4月からは通常通りの学校が再開すると考えていましたが、みなさんの入学式は、2クラスずつの2回に分け、椅子と椅子を2mの距離とって並べ、開催させていただきました。その翌日から再び臨時休校、みなさんの中学校生活は6月1日の分散登校からスタートを切りました。以降、世界中がマスクの着用、3密回避、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスと感染症対策は何よりも優先されることとなり、学校教育も大きく変わりました。風邪気味であってもがんばって登校することは悪いこととなり、同居家族に風邪症状の者がいれば、自分が元気でも登校できなくなりました。給食は、全員が前を向いて黙って食べる黙食が当たり前となり、合唱や調理実習、理科の実験は感染リスクが高いとされ、大きく制限されました。

今、一人一人の素顔を見て、卒業証書を手渡しました。感無量です。改めて素顔と素顔で、アクリルパネルなどもなく向き合うことで通じ合う気持ちがあることを実感しました。

感染症対策最優先の中学校生活は、卒業生のみなさんから、素顔で向き合うことを奪ってしまうことになりました。大変申し訳なく感じています。

コロナ禍での学校生活、2年生の1月に予定されていた修学旅行は2月へ、さらに4月に2度、延期されたことは、忘れられません。何としてでも実施するために、3年生に進級してからの給食において、クラスを2つのグループに分け、1つのグループは特別教室でたべるという徹底した対策を行いました。私は、これほどの感染症対策を卒業生のみなさんに強いることに心苦しさを覚えていました。しかし、教室から特別教室に給食を運ぶ様子を見に行くと、意外にも楽しそうでした。制限という言葉からもマイナスイメージの感染症対策ですが、卒業生の皆さんは、それさえも楽しんでしまう逞しさをみせてくれました。

今、変化の時を迎えています。学校では4月からマスクの着用は求めません。5月8日から、コロナの感染症法上の分類が変わります。これからの高校生活では、友だち同士、大勢で密接に関わりあって、大声で語り合い、心と心を通わせて、ともに生活する中でもっともっと成長してください。みなさんは、コロナ禍を経験したからこそ、人との絆の大切さを誰よりもわかっていることでしょう。人生の喜びは人と人とのかかわりの中でしか、生まれません。卒業生のみなさん、多くの人とつながりを持ち、絆をつくり、仲間とともに人生を切り開いていってください。



令和5年3月15日

ふじみ野市立花の木中学校長 森田 匠

修了式

3/24(金)、令和4年度のすべての教育課程が終了しました。これまで、学校を支えていただいたすべての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。4月からの令和5年度も、引き続きよろしく願いいたします。

—式辞—

令和4年度の1年間の課程を修了した証明を渡しました。花の木中学校の校長として1・2年生の全生徒の進級を認めます。自分自身では、進級を認められますか?ちょっと厳しいかなと思う人は、春休みに自分を高め、新3年・新2年にふさわしくなって欲しいと思います。

さて、今、世の中は変化の時を迎えています。3/13より、マスクの着用が個人の判断となっています。学校では、4月からマスクの着用を求めないこととなります。合言葉は「素顔でスタート!新学期」です。世の中では「個人の判断」。学校では「マスクの着用を求めない」。表現が違います。なんでだろうと自分なりに考えてみました。「マスクの着用を求めない」という表現にはマスクを着けていないことが前提となるのではないのでしょうか。着用を求める場面というのは、マスクをしていない人に・・・だからです。学校では卒業式と同じようにマスクなしが基本となるのです。それは、なぜか。学校では、毎日子供たちが成長していきます。特に、心の成長において、マスクの弊害が目立っていると感じています。相手を思いやる気持ち。思い切って自分を表現する勇氣。これらの成長を阻害しているのがマスクだからです。「素顔でスタート!新学期!」期待しています。ただし、コロナが怖い人や花粉症など場合は、その限りではありません。また、マスクの着脱によって、偏見や差別があってはなりません。心配なことがあったら、担任の先生に相談してください。

そうはいつでも、マスクを外すことに抵抗を感じる気持ちもわかります。私も、スーパーに買い物に行ったりしたとき、みんなマスクしてるから、自分もマスクしようと思ってしまう。世の中では、大体の人がまだマスク生活です。マスクを外して買い物するには、勇氣が必要でした。

一人では難しくても、仲間と一緒に思い切って、やってみてほしいと願います。さらに、個人の判断といいつつも、自分で考えずに長いものに巻かれるような世の中の空気を花の木中から変えてほしいとも思います。自分の心を成長させるためにということ第一に考え、行動しましょう。

春休み中、よく考えてみてください。素顔でスタート新学期!楽しみにしています。



半日花中生～スムーズな進学に向けて～

3/1(水)さぎの森小学校・福岡小学校の6年生が、中学校の授業を体験し、生徒会本部の生徒からガイダンスを受けました。

授業には、中学3年生の生徒も参加し、小学生のサポートを行いました。

ガイダンスでは、花の木中の学校行事や部活動、制服などの服装について、実演を交え、説明する内容でした。安心して進学できることと思います。



4・5月の主な予定

4/7(金) 準備登校
4/10(木) 入学式・始業式
4/13(木) 給食開始 発育測定 個人写真撮影
4/18(火) 3年全国学力テスト 1年心電図検診
4/20(木) 尿検査 歯科検診

4/21(金) 1年校外学習
4/26(水) 2・3年保護者会
5/2(火) 1年保護者会 部活動保護者会
5/15(月)16(火) 中間テスト
5/27(土) 体育祭